

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記当院の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象となる方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合にはご連絡いただければ研究対象としません。

記

研究機関名	地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター
整理番号	25-552
研究の名称	当院における COPD、ILD 患者に対する呼吸リハビリテーションプロトコル構築に向けた研究
総研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2029年 5月 31日
試料・情報の利用を開始する予定日	2026年 2月 24日
研究の対象	2023年 4月～2025年 11月まで当院で入院し呼吸リハビリテーションを受けられた慢性閉塞性肺疾患および間質性肺疾患の患者さん
研究の目的	慢性閉塞性肺疾患および間質性肺疾患患者に対しての呼吸リハビリテーションは多くの研究によって有用性が示されおり、当院でもこれまで年間約 100 例の患者さんに対して実施してきた。しかし、評価・治療内容は担当セラピストによって異なり、知識や経験によってリハビリテーション効果の差が懸念された。 そこで新たにMini-cog(認知症のスクリーニング検査),HADS (不安・抑うつ検査) ,COPD アセスメントテスト (以下 CAT) ,SPPB (バランスおよび下肢筋力の総合評価) ,握力,膝伸展筋力,6 分間歩行試験をルーティン評価として追加。その評価をもとに呼吸リハビリテーションを実施した 2024 年度以降の患者さんと変更以前の 2023 年度の患者さんを比較し有用性を検証することとした。
研究の方法	2023 年度の呼吸リハビリテーションを受けられた方と 2024 年～2025 年で新たに導入した評価項目を用いた呼吸リハビリテーションを受けられた方の再入院率を調査、比較し有用性を検討。 2024 年以降でリハビリテーションを受けられた方の情報をもとに評価・治療プログラムのプロトコルを作成する。
研究に用いる資料・情報の種類	試料：なし 情報：電子カルテ内の診療録より 病名、診断名、年齢、性別、BMI、入院日、退院日、過去の入院歴および同一年度内の再入院歴、病期、呼吸機能検査、吸入薬等治療薬剤、電子カルテ内のリハビリテーション記録より Mini-cog、HADS、CAT、修正 MRC スケール、FIM (日常生活機能評価)、運動機能 (MMT、握力、膝伸展筋力)、SPPB、6 分間歩行距離
個人情報の取扱い	患者さんを直接特定できる氏名や住所等の個人情報は、利用する情報から削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

お問い合わせ先	<p><当院の連絡先> 地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター 所属：薬剤・技術局リハビリテーション技術科 研究責任者：堀 常太郎 住所：大阪府堺市西区家原寺町1丁1番1号 TEL：072-272-1199(代表)</p>
---------	--

作成日：西暦

2025年 12月 18日 (第2版)